

【 豊橋日独協会 】

◎ 設 立	平成3年5月8日
◎ 代表者	会長 神野 信 郎
◎ 所在地	〒440-8531 愛知県豊橋市駅前大通一丁目 55 番地 サラタタワー
◎ 連絡先	TEL 0532-51-1205 FAX 0532-51-1274 E-MAIL jdtoyo@chubugas.co.jp 、URL http://www.jdg-toyohashi.com/
◎ 会員数	法人会員 45 社、 個人会員 196 名

《 訃 報 》

平成 26 年 10 月 23 日、当協会の 西島 篤師 副会長兼事務総長（享年 63 歳）が中咽頭がんのためご逝去されました。

ドイツとの交流において、長年にわたり多くの皆さまより賜りましたご指導、ご厚情に対し、心より御礼申し上げます。



《 平成 2 6 年度 主な活動 》

平成 26 年 4 月 25 日（金）～4 月 26 日（土） 1 泊 2 日

● 「第 3 回東北被災地応援ツアー」開催（参加者：14 名）

宮城県東松島市の阿部秀保市長、石巻専修大学の坂田学長を表敬訪問し義援金をお渡しするとともに、東松島市元教育長・木村民男氏による案内で東松島市内の被災地を視察。翌日は、塩竈市の復興支援団体との交流会、再開発準備組合事務所での勉強会、並びに塩竈神社参拝などを行った。



平成 26 年 5 月 14 日（水）

● 「デザイン書画『際』贈呈式」開催（参加者：4 名）

平成 26 年 1 月開催の「豊橋日独協会・新年会」にてデザイン書道家の鈴木 愛さんに力強く描いていただいた『際』の書初めを、豊橋市とドイツをはじめとする諸外国との更なる国際交流の発展を祈念し、公益財団法人豊橋市国際交流協会へ寄贈した。



平成 26 年 5 月 27 日（火）

● 「豊橋日独協会 年次総会・懇親会」開催（参加者：68 名）

年次総会の審議終了後、6 月開催のサッカーワールドカップ風の会場設営のなか、新入会員紹介と神野会長の音頭による乾杯で懇親会がスタートした。「ワインコーナー」が大変人気を集め、テーブル対抗の「ワールドカップゲーム」では、ミニゴールにシュートがなかなか入らず熱戦となり、会場は大いに盛り上がった。



平成 26 年 6 月 3 日 (火) ~6 月 11 日 (水)

● 「2014 豊橋日独協会ドイツ視察団」開催 (参加者 : 21 名)

ベルリンの在ドイツ日本国大使館並びにグスタフ・ハイネマン高校、ヴォルフスブルグ市、ライプツィヒ市を公式訪問するとともに、フォルクスワーゲン AG 他への企業訪問、現地日独協会関係者との交流、各種情報交換、並びにニュルンベルグ・ムルナウ・ミュンヘンなどの市内観光を行った。



平成 26 年 7 月 7 日 (月)

● 「東北復興ドキュメンタリー映画『先祖になる』上映会」
協賛 (来場者 : 250 名)

当協会にて東北復興支援を継続して行っていることもあり、本上映会への協賛を行った。震災にあった 77 歳の老人が自分の家を建てるために孤軍奮闘する姿を描いたドキュメンタリー映画で、2 回の上映とも 120 名を超える方々が来場され、被災地に対する関心の高さを改めて認識した。



平成 26 年 7 月 21 日 (月・祝) 海の日

● 「とよはしみなとフェスティバル 2014」参加
(参加者 : 166 名)

ロール式紙芝居によるグリム名作劇場「金色のがちょう」・「にんじんとごぼうとだいこん」を開催。また、写真パネルによる当協会の PR コーナーの開設、ドイツビール&ホットドックの販売のほか、「ワールドカップゲーム」を行い、子供たちに大変人気だった。



平成 26 年 7 月 23 日 (水) ~7 月 26 日 (土)

● 「第 5 回豊橋青少年オーケストラキャンプ事業」協力

ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルトの首席客演指揮者の浮ヶ谷孝夫氏と一流演奏家 16 名を講師として招聘し、豊橋市内の小中高生 222 名の演奏指導を行うとともに、最終日に「マエストロと夢見る若者たちのコンサート」を開催。当協会は講師の接遇や通訳、ホームステイ家族のお世話など、各種支援を行った。



平成 26 年 9 月 27 日 (土) ~9 月 28 日 (日)

● 「LOVE PORT TOWN TOYOHASHI 2014」協力

国際自動車港湾である「三河港」を舞台に、公益社団法人豊橋青年会議所など若いメンバーが主体となって開催している港を含めた「まちづくり」事業。当協会として、開会式での神野会長の挨拶、会報誌への寄稿などの協力を行った。



平成 26 年 10 月 2 日（木）～10 月 3 日（金）

●「バローグ=クラウス輝子会長ご夫妻歓迎パーティー」開催
（参加者：59 名）

バローグ=クラウス輝子会長ご夫妻が、「豊橋親善大使」委嘱式への出席、結婚披露、西島副会長お見舞いのため来豊。ドイツ視察団などでお世話になった方々が大勢集まり、ピアノ演奏、ビンゴゲーム、お土産交換、全員合唱などでご夫妻との更なる懇親を深めた。翌日、豊橋市役所において、同会長に佐原市長より「豊橋親善大使」の委嘱状と盾が授与された。



平成 26 年 10 月 25 日（土）

●「豊橋日独協会 日帰りバスツアー」開催（参加者：22 名）

徳川家康公を祭った「久能山東照宮」において、国宝指定の本殿、石の間、拝殿を見学。また、「由比広重美術館」を訪れ、江戸時代の浮世絵師、歌川広重による東海道の風景版画を鑑賞し、浮世絵芸術の素晴らしさを満喫した。



平成 26 年 11 月 1 日（土）～11 月 23 日（日）

●「とよはしまちなかスロータウン映画祭」参加（入場者：385 名）

ユダヤ人迫害を逃れ、アメリカに亡命した女性哲学者の伝記ドラマ『ハンナ・アーレント』（2012 年ドイツ）を提供・上映した。

平成 26 年 11 月 2 日（日）

●「第 13 回親睦ゴルフ大会」（参加者：13 名）

前日の雨天にもかかわらず、この日のプレイ中だけ天候に恵まれ、楽しくプレイするとともにゴルフを通して会員相互の親睦を深めた。

平成 26 年 11 月 7 日（金）

●「東日本大震災チャリティ公演 心の力と身体の支え」協力
（参加者：200 名、参加費：1,000 円）

健康の匠（松本孝一氏）、精神の匠（中村敬一氏）、癒しの匠（野畑さおり氏）の 3 名による「心と身体の繋がり」をテーマにした公演に協賛した。なお、本公演の売上金は、必要経費を除く全額が東日本復興のために寄付された。



平成 26 年 11 月 15 日（土）

●「第 2 回ヴォルフスブルグ市交流絵画コンクール表彰式」
出席

友好都市提携を機に 2 年前にスタートした豊橋市とヴォルフスブルグ市の子供たちの絵画作品交流イベント。当日は、当協会の中村副会長がヴォルフスブルグ市長賞、並びに豊橋日独協会会長賞の受賞者計 4 名に対し、表彰状・記念品を授与した。



平成 26 年 11 月 16 日 (日)

●「とよはし国際フェスティバル 2014」参加

「平和・交流・共生のまち」をテーマに、異文化を見て、感じて、体験しながら国際交流を楽しむフェスティバル。当協会として、ドイツとの交流をはじめとする活動紹介パネルを作成・展示するとともに、参加協力を行った。



平成 26 年 12 月 1 日 (月)

●「復興お絵柿プロジェクト」サポート事業

ベルファーム代表の鈴木義弘さん(柿栽培農家)との共同事業として、豊橋市内の小学生に「次郎柿」にかぶせる紙袋に絵やメッセージを書いていただき、収穫後、「復興お絵柿」として石巻市糠塚前仮設団地にお届けする事業を行った。



平成 27 年 1 月 30 日 (金)

●「豊橋日独協会 新年会」開催 (参加者: 86 名)

来賓としてフロリアン・イエーガー副総領事をお迎えして盛大に開催した。開会に先立ち、「浜辺の歌」を全員で歌い、故・西島篤師副会長のご冥福をお祈りした。神野会長の新年挨拶のあと懇談に移り、東北支援グッズの販売、紙芝居、ビンゴゲーム、全員合唱などで会場は大いに盛り上がった。



平成 27 年 3 月 27 日 (金)

●「ヴォルフスブルグ市マラソン交流使節団」来豊 (4 名)

「第 6 回穂の国豊橋ハーフマラソン」に参加するため、市民ランナー 2 名他計 4 名が来豊。豊橋駅でのお出迎いのあと、「お茶&生花」による日本文化を体験。歓迎会では「習字コーナー&剣玉コーナー」を設け、当協会会員と和やかに交流した。



★ 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

●「東日本大震災に係る東北交流支援活動」(第 37～48 次)

西島副会長、大場委員長を中心とした有志の方々が、当協会会員やドイツを含めた国内外からの支援金や生活必需品を、それぞれの温かい思いと一緒に石巻専修大学や女川町の小・中学校をはじめとする被災校へ直接お届けする支援活動を行った。



◎ ドイツ語教室

●上級・中級・初級ドイツ語講座

⇒ 上級・中級は、春・秋季で延べ 30 回開催(参加者: 延べ 38 名)、初級は、春・秋・冬季で延べ 26 回開催(参加者: 延べ 35 名)

◎ シュタムティッシュ

●毎月 1 回開催(於 ビアホール独逸)

⇒ 来豊したドイツからのお客様との懇親や入会希望者との懇談の場。毎回 20～30 名の参加者が集い、有意義な交流の場となっている。

以 上